

| | | | | | |
|------|----|-----|--------------|-----|------|
| 学校番号 | 12 | 学校名 | 静岡県立袋井特別支援学校 | 校長名 | 佐藤 徹 |
|------|----|-----|--------------|-----|------|

1 目指す学校像

(1) 教育目標

自ら光る子 ～それぞれの子がその子らしく精いっぱい生きる～

- ア 安心して生活、学習できる学校 【安全・安心な学校】
- イ 自分の力を精いっぱい発揮できる学校 【子ども主体の学校】
- ウ 保護者、地域とともに歩む学校 【開かれた学校】

(2) 目標具現化の柱

- ア 学びを支える安全・安心な環境づくり
 - 人権の尊重を基盤とし、より安全で安心な学校体制と教育環境づくりを推進する。
 - 教職員の心身の健康につながる「本気の業務改善」のための役割分担の適正を図る。
- イ 学びを積み上げる授業づくり
 - 児童生徒一人一人の確かな成長・発達を目指した子ども主体の授業づくりに邁進する。
- ウ 学びを豊かにする心と体づくり
 - 感動する豊かな心とたくましい体づくりを目指した指導の充実を図る。
- エ 学びを広げる新たな関係づくり
 - 児童生徒の現在及び将来を見据えた家庭・地域・関係諸機関との更なる連携強化を図る。

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

| 取組目標 | 達成方法（取組手段） | 成果目標 | 担当部署 |
|--|--|--|--|
| ア 学びを支える安全・安心な環境づくり | | | |
| 危機管理に関する様々な場面を想定し、安全で安心な学校生活を送ることができる教育環境を整える。 | 交通安全、防災（S B避難訓練等）、食育、ICTの安全活用等、児童生徒の安全を意識した教育活動を充実する。 | ・様々な教育活動の中で児童生徒が安全に学校生活を送れたと答える保護者・教員 100% | 危機管理課 生徒指導課 保健給食課 図書情報課 各学 部 |
| | アレルギー・感染症対策及び医療的ケアのヒヤリハットへの適切な対応を図る。 | ・児童生徒のアレルギーの把握・感染症予防を意識できた教員 100% ・医療的ケア事故 0 | 保健給食課 医ケア担当 |
| | クリーン作戦等を実施し、教育環境を整備する。 | ・校内が整理・整頓されると答える保護者・教員 100% | 総務課 |
| 人を大切にする言葉や行動が溢れる教育活動を推進する。 | ・自他の理解を深め、対人関係を円滑にする指導の充実を図る。 ・人権教育全体計画・年間指導計画の活用を図る。 | ・校内における児童生徒、教員の「いじめ」「体罰」「ハラスメント」 0 ・人権教育に関する研修への参加と伝達講習 | 生徒指導課 各学 部 |
| 限られた資源や時間の有効活用が図られる学校体制を整備する。 | 校務や役割分担を見直し、効率的で効果的な業務の遂行を図る。 | ・効率的に、且つやりがいを感じて楽しいと答える教職員 95% | 各学 部 事務 部 |
| | 袋特人材バンクを活用し、豊かな教育活動を展開する。 | ・袋特人材バンクを活用して教員間で連携し合うことができたと答える | 文化芸術課 各学 部 |
| イ 学びを積み上げる授業づくり | | | |
| 主体的、対話的で深い学びの視点による授業の充実を図る。 | P D C A サイクルに基づく授業実践の充実を図る。 | ・班別研修の実施 ・一人1授業研の実施 | 研 修 課 各学 部 |

様式第1号

| | 取組目標 | 達成方法（取組手段） | 成果目標 | 担当部署 |
|-------------------------|---|---|--|--|
| | 12年間の学びのつながりを意識し、系統性のある生活や授業づくりを推進する。 | 各学部、知肢訪の連携と情報の共有を図る。 | ・知肢訪がつながりを意識した教育活動に取り組むことができた。 | 教務課 研修課 各学部 |
| | 多様な教育ニーズに応える高い専門性を持った教職員集団を目指した研修を推進する。 | 各分野で特化した専門性のある教員及び外部講師による研修会の実施。 | ・外部講師による年8回以上の研修会等の実施。 ・校内の教員による年5回以上の各種ワークショップや学習会の実施。 | 研修課 文化芸術課 体育課 自立活動課 図書情報課 支援連携課 進路指導課 保健給食課 |
| ウ 学びを豊かにする心と体づくり | | | | |
| | 児童生徒同士のかかわりを充実させ、責任感や自主性、社会性、相手を尊重する心を養う。 | ・児童生徒同士のかかわりを重視した教育活動の充実を図る。 ・委員会活動の活用。 | ・児童生徒が、友達を意識したり、大事にしたりする言動が増えたと答える保護者 95%・教員 100% | 支援連携課 袋特市 生徒指導課 各学部 |
| | 健康な体づくりや運動機能の維持・向上に努める。 | 年間を通して健康面や体力づくりを意識した活動や自立活動を展開する。 | ・児童生徒の健康な体づくりや運動機能の維持向上に努めたと答える保護者 100%・教員 95% | 体育課 保健給食課 自立活動課 |
| | 豊かな表現力と感性を育てる指導の充実を図る。 | 豊かな心を育む読書活動の推進を図る。 | ・児童生徒が本に親しむ習慣が身についたと答える教員 100% | 図書情報課 |
| | | 音楽活動や文化芸術活動において校外外で児童生徒の発表の場を積極的に設ける。 | ・学期1回以上の校外展示会、発表会、コンクール等への参加 | 文化芸術課 |
| エ 学びを広げる新たな関係づくり | | | | |
| | 保護者や地域、関係機関等への積極的な情報発信とキャリア教育の推進を図る。 | 地域に学び、参加する教育活動を推進する。 | ・各学部月1回以上、地域に対して積極的に本校の教育活動を発信する。 | 総務課 図書情報課 広報課 各学部 |
| | | 市教委・校区小中学校と連携した進路連絡会、学校見学会等の開催。 | ・進路連絡会・学校見学会等が有意義だったと答える参加者 100% | 支援連携課 進路指導課 各学部 |
| | | ・保護者・関係機関と連携した進路指導の充実と情報発信を図る。 ・センター的機能の充実を図る（高等学校との連携強化）。 | ・年2回以上の保護者を対象とした学習会の実施。 ・年1回以上の進路をテーマとした学年会の実施。 ・学校は必要な情報を提供する機会を設けていると答える保護者 100% | 支援連携課 進路指導課 |
| | | ・個別の教育支援計画に基づき、個々の児童生徒に対する支援体制を整える。 | ・児童生徒に対して適切な相談や支援が行われたと答える保護者・教員 | 支援連携課 進路指導課 教務課 自立活動課 各学部 |
| | | ・計画的・組織的な交流及び共同学習の推進と居住地交流の実現（交流籍の活用） | ・双方にとって有意義な交流であったと答える交流校及び本校教員 | 支援連携課 各学部 |